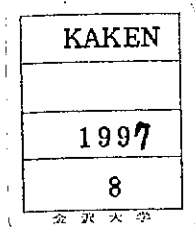


介形虫高次分類における異時性の重要性

著者	神谷 隆宏
著者別表示	Kamiya Takahiro
雑誌名	平成9(1997)年度 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書
巻	1995-1997
ページ	5p.
発行年	1998-03
URL	http://doi.org/10.24517/00052603



介形虫高次分類における異時性の重要性

研究課題番号 07454124

平成7-9年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))

研究成果報告書

平成10年3月

研究代表者 神谷隆宏

(金沢大学大学院自然科学研究科)



介形虫高次分類における異時性の重要性

(研究課題番号 07454124)

平成7年度～平成9年度科学研究費補助金(基盤研究B2)
研究成果報告書

平成10年3月

研究代表者 神谷隆宏
(金沢大学大学院自然科学研究科)



8000-59975-9

金沢大学附属図書館

はしがき

本研究成果報告書は文部省科学研究費補助金「基盤研究(B)(2)」により平成7年度から平成9年度にかけて行われた「介形虫高次分類における異時性の重要性」(研究課題番号: 07454124)に関する報告書ならびに研究成果出版物の別刷である。研究組織、研究経費および研究発表は以下の通りである。

研究組織

研究代表者： 神谷隆宏 (金沢大学大学院自然科学研究科) 助教授
研究分担者： 塚越 哲 (東京大学総合研究博物館) 助手

研究経費

平成7年度	3, 200千円
平成8年度	2, 400千円
平成9年度	800千円
計	6, 400千円

研究発表

(1) 学会誌等

1. Tsukagoshi, A. and T. Kamiya: Heterochrony of the ostracod hingement and its significance for taxonomy. *Biological Journal of the Linnean Society*, 57, 343-370, 1996.
2. 神谷隆宏：化石情報から系統進化を考えるー貝形虫類のポア・システムー、*遺伝*、51巻7号、28-34、1997.7.1
3. 塚越 哲：時間軸と進化のパターンー貝形虫類にみる異時性ー、*遺伝*、51巻7号、35-40、1997.7.1

(2) 口頭発表

1. 瀬戸隆之・神谷隆宏・塚越哲：Pore-systemによるLoxoconchidae科介形虫類の系統関係の検討。日本古生物学会1996年年会、大阪、1996.1
2. Kamiya, T., T. Seto and A. Tsukagoshi: Convergence of morphology and parallelism in ostracode taxa. 30th International Geological Congress, Beijing, 1996.8
3. 瀬戸隆之・神谷隆宏・塚越哲：介形虫の系統の推定におけるpore-systemの有効性ー科間の系統関係についてー。日本古生物学会1997年年会、京都、1997.1
4. 石井透・瀬戸隆之・神谷隆宏・塚越哲：Pore-systemから見た西太平洋と北大西洋のLoxoconcha属葉上種の系統関係。日本古生物学会1997年年会、京都、1997.1

5. 岡本史・岩見雅史・神谷隆宏・塚越哲：ミトコンドリアDNAからみた介形虫系統関係—とくに pore-system との整合性について—。日本古生物学会 1997 年年会、京都 1997.1
6. Kamiya, T., T. Seto, A. Tsukagoshi, F. Okamoto and M. Iwami:
Differentiation of the distribution of pore-systems: a possible powerful tool for the assessment of ostracod phylogeny. 13th International Symposium on Ostracoda, London, 1997.6
7. 陽智絵・神谷隆宏：Pore-system を用いた介形虫の科間における系統関係の推定。日本古生物学会 1997 年年会、小田原、1997.1
8. 林亜紀子・神谷隆宏：本州中北部に生息する *Neonesidea* 属（貝形虫）の再分類。日本古生物学会 1997 年年会、小田原、1997.1